



# 学校だより3月号

【学校教育目標】「力を合わせ 笑顔が光る日限の子」

令和6年2月29日

横浜市立日限山小学校

〒233-0015

港南区日限山二丁目16番1

TEL 045(841)6561

## 門出のときを迎えて

～子どもたちの思いを育む卒業式に～

校長 岡崎 陽子

校長室の窓からは、こぼれ種から育った菜の花や、ひぎりんサポーターズの方々が植えてくださったネモフィラの花が、風にゆれながら咲いている様子がよく見え、春の訪れを感じることができます。

早いもので令和5年度もあと3月を残すばかりとなりました。新型コロナウイルス感染症が5類相当になった今年度は、学校にコロナ禍前の子どもたちの姿が戻ってきた年でもあります。給食は「黙食」ではなく「会食」になり、食事中的笑顔が戻りました。歌うときはマスクを着用していたのが、外して歌えるようになり、自分の声と友達の声の響き合いを楽しめるようになりました。

先日行われた6年生による保護者を対象とした「感謝の会」では、自分たちで会の内容について相談し、協力して準備したり、練習したりして、感謝の思いを、言葉、歌、合奏、演技を通して表現することができました。子どもたちの気持ちのこもったすてきな会でした。会の終了後、ある保護者の方から「校長先生、この子たちが3年生の時は、フェイスシールドを着けてリコーダーを吹いていたことを、今、思い出しました。」と声をかけられました。その出来事をきっかけに、様々な制限を受けていた当時の教育活動が思い出され、さらに感慨を深めました。

思い起こせば、令和元年度の卒業式は、全国一斉の臨時休業の措置が取られる中、卒業生と教職員のみで行いました。令和2年度は、保護者1名が参列していただけるようになりました。令和3年度は、参列していただける保護者が2名となりました。令和4年度は、ご来賓として学校運営協議会の方々にご出席いただきました。そして、コロナ禍を経た今年度は、ご来賓として自治会や学援隊の代表の方々にもご臨席を賜ると共に、在校生の代表として5年生も参加しての卒業式を実施します。

卒業式は、正式には「卒業証書授与式」と言い、卒業証書を一人ひとりに渡すことが大きな目的の一つです。しかし、小学校ではそれだけで終わらず、卒業証書を受け取ったあと、子どもたちが呼びかけを行うことが多いです。本校でも「門出の言葉」という呼びかけを行います。

コロナ禍では、十分な時間をとって呼びかけを行うことができませんでしたが、今年度は、コロナ禍前のように、6年生が一人ずつ言葉を述べたり、5年生と6年生が言葉を掛け合ったりする呼びかけに戻ります。6年生だけで歌う曲の他に5、6年生で一緒に歌う曲もあります。

6年生は呼びかけを通して、小学校の思い出を振り返ったり、中学校に向けて新たな希望を胸に抱いたりすることと思います。5年生は、卒業式に臨む6年生の真剣な眼差しや堂々とした姿を見て、次は自分たちが日限山小学校のリーダーとして頑張ろうという思いを高めていくことと思います。3月19日（火）の卒業式が、それぞれの子どもたちの思いを育むことができる式となるよう、職員一同、心を込めて取り組んでまいります。

保護者や地域の皆様におかれましては、門出のときを迎えた卒業生とその姿を見送る在校生をこれまで通り温かく見守っていただくと共に、それぞれの子どもたちが、次のステージでも自分らしく輝いていけるよう、ご支援いただければ幸いです。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。